

みんなの

# 健・康・と・法・律



福岡大学医学部精神科  
講師 小林 隆 児

## 子どもの心の発達(第6回) ことばの発達と 障害(その2)

### 障害(その2)

ことばの障害には様々な種類がありますが、原因はよく分からないことが多いのです。ことばの発達に必要な条件を考えるとその複雑な絡み合いは容易に想像できます。一度獲得された言葉を失う大人の失語症では障害部位もかなり明確になりますし、言語中枢ははっきりしていますので原因も究明されやすいといえますが、子どもでは大脳の機能分化も未発達ですから、なかなかそのようなわけにはいきません。

ことばの遅れを示す最も多い障害は精神遅滞ですが、これ自体が様々な原因によって起こります。大脳全体の発達と働きを阻害する原因によるのでしようが、はっきりした原因はわからず、周産期になんらかの脳の障害を受けたと思われるとか推測できないことが少なくないのです。でも放置すると重度の精神遅滞を呈するような様々な先天性代謝障害が最近の小児医学の進歩で次々に明らかになってきていますし、予防可能な原因も随分明らかになってきていますのは大変有り難いことです。

精神遅滞にみられることばの遅れは精神発達全般の遅れの一部分ですから、当然精神発達他の面でも遅れが認められます。身体運動面、身の回りの物に対する好奇心などにみられる探索行動や物の扱い方、人に対する関心などの社会性の発達、食事や排泄その他の生活習慣などの広い範囲においてある程度の遅れを示します。ですからこのような子どもには生活全体にむらなく働きかけてゆくことでもってバランスのとれた発達が促進されます。ことばの指導だけをしてもうまくいきません。しかし、次回述べる他の障害に比べると感情反応は豊かですし、対人反応も基本的には保たれていますから、コミュニケーションがとれなくて苦勞することは少ないといえます。



## 小児の歯肉炎

歯肉炎は大人だけの病気と思われがちなのですが、小児にもよくみられます。小児、特に学童期に見られる歯肉炎で最も多いのは不潔性歯肉炎(単純性歯肉炎)と呼ばれるものです。これは、歯の清掃の不十分による歯垢の付着が主な原因でおこります。最初は歯と歯の間の歯肉が赤く腫れてきます。そしてブラッシングのたびに出血し易くなります。これを放置していると、歯の周りの歯肉全体に炎症が広がり、歯肉が赤紫色に腫れ、痛みは無いのですが、僅かな刺激でも直ぐ出血するようになります。

このような不潔性歯肉炎の予防と治療には、やはり適切なブラッシングにより歯垢をきれいに除去することが最も効果的です。しかし、ブラッシングというものはなかなか難しく、みたくところ綺麗に磨けたようでも、磨き残しが多いものです。それに間違ったブラッシングを続けて

いると歯肉を傷めたり、退縮させたりしますので、歯科医院で年齢に応じた正しいブラッシングの仕方の指導をうけることをお勧めします。また家庭でも簡単に出来るブラッシングのチェック法として、歯垢染色液(歯科医院や薬店で売っている)で歯垢を染めだしてみる方法があります。磨き残しがあると歯垢が赤く染めだされ、ブラッシングの悪い所が見つかります。時々試してみてください。



福岡医科大学  
小児歯科学教室  
助手 石井 香

## 健康コラム

### アレルギー性鼻炎 くしゃみや鼻づまりに注意

**Q** 小学校3年の女の子。かぜが長引いて、適切な治療法をお教えください。

**A** かぜの他に、この時期はアレルギー性鼻炎を考えてみる必要があるでしょう。子どもの場合、気管支ゼンソクやアレルギーを併発することも多く見られます。症状としては、くしゃみ・水のような鼻水・鼻づまりが特徴的な病気で、たいへん気分の悪い病気です。原因も、家のほこり、カビ、ペットの毛やふけ、そばがらや羽毛などが考えられます。食物による場合もあります。

また、季節性的アレルギー性鼻炎の主原因は花粉症、特に注目されている花粉症は、スギなど木の花粉です。風に乗って遠くまで飛び、多くの人を悩ませています。

アレルギー性鼻炎を治すには、原因抗原を見つけて、それを取り除くことが最良です。家の掃除・カビの掃除・ペットを飼わない・鉢植えの植物を家に入れないなどのことが大切です。また、花粉の時期には、窓を閉め、外出のときは、マスクをすることも効果があります。日常生活にさしさわりがある場合は、対症療法として、抗ヒスタミン剤の服用やインターンという薬を噴霧用として使うこともあります。